

板紙系制振材料について

本州製紙(株) 三鴨 弘明

1. はじめに

複雑化する社会生活の中で、快適な生活を支える為に、いくつかの問題解決が求められている。

例えば、住宅では隣戸間、隣室間、上下階間の騒音問題があり、主に振動・騒音を防止する素材が強く求められている。

また、都市部での紙ゴミもOA化の進展で、急激に増加しており、その再生、有効活用が必要となっている。

こうした中で、古紙系板紙を利用した制振防音材は、前述の社会問題を一挙に解決する素材と言える。

ここでは、これらのニーズから開発され、今後広い用途が期待される板紙系制振防音材の特性、用途等につき紹介する。

2. 板紙系制振材とは

板紙系制振材の基本構造は、板紙の間に粘弾性樹脂をサンドイッチしており用途に応じて、石膏ボード、珪カル板、合板、薄鋼板等との複合構造体として利用する。

板紙系制振材は図-1に示すように、高い制振性能を示す。

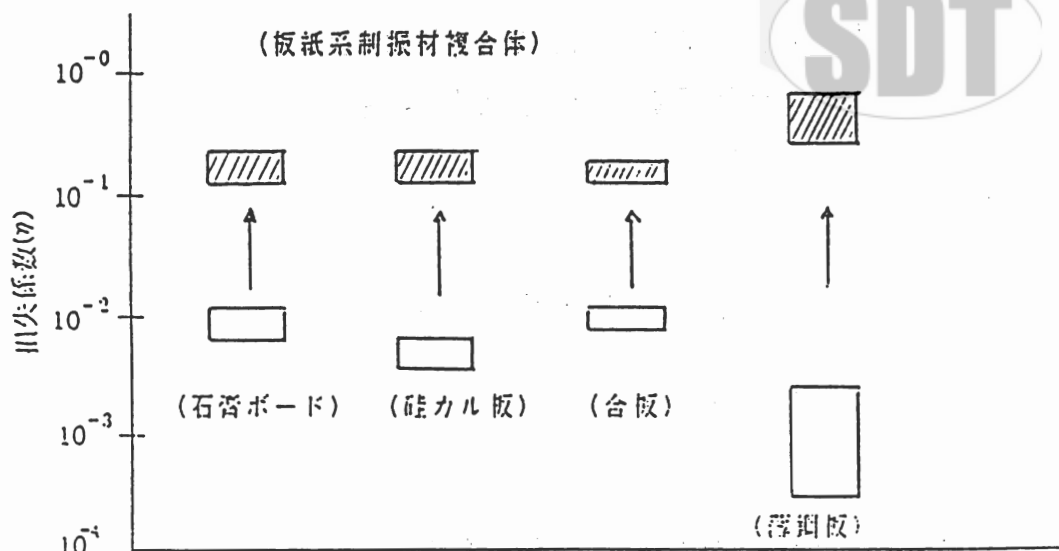


図1. 制振性能レベル